

イノベーション事業本部は、中小企業経済圏の成長エンジンとして、スタートアップ企業を主要顧客に、その成長を起点とした価値創造を牽引していきます。独自のスタートアップコミュニティの創設や地域金融機関との連携によるネットワーク基盤を構築し、オープンイノベーションを通じて中小企業との共創を促進します。スタートアップ企業の価値向上をサポートし、同分野のトップバンクを目指します。

## スタートアップと中小企業経済圏をつなげ、 今までにない価値創造をリードする

専務執行役員  
イノベーション事業本部長

鍛冶 克彦

※インダストリー事業本部長を兼務



### 本部長メッセージ

イノベーション事業本部は、スタートアップ企業の成長支援を起点に、新たな価値創造を担う中核組織として設立されました。スタートアップ企業は革新的な技術やビジネスモデルを通じて社会課題の解決と産業の進化を牽引する存在であり、その成長支援は商工中金の長期戦略における重要な柱です。2019年の取組み開始以降、スタートアップ営業部を中心に約700社、約1,100億円の資金提供を行ってきましたが、イノベーション事業本部では、リスクマネーの供給を数年内に2,000億円規模まで拡大することを軸に、企業の成長ステージに応じたサポートを強化してまいります。

また、資本政策のサポート強化により、中長期的な企業価値向上を後押しするとともに、資金供給にとどまらない伴走型支援を行っていきます。さらに、経営者コミュニティの形成や地域金融機関との連携強化によりネットワーク基盤を構築し、成長機会の拡張を図ります。

加えて、スタートアップ企業と中小企業との接点創出を通じてオープンイノベーションを促進し、新技術や新サービスの導入・活用を促進します。これにより、中小企業の生産性向上や新たな付加価値創出を後押しし、中小企業経済圏全体の高度化と活性化につなげていきます。

今後も、スタートアップ企業の成長支援と中小企業への価値波及を両輪として、商工中金グループならではの価値創造モデル確立を進め、持続的な成長と収益基盤の強化を実現してまいります。

### 対処すべき課題

スタートアップ企業を取り巻く環境は、政府によるスタートアップ育成5か年計画の進展が見られる一方で、成長資金の供給や事業化を支える支援はなお途上段階にあります。

こうした状況を踏まえ、イノベーション事業本部には、事業化までに時間を要し不確実性を伴う領域に対しても、リスクマネーの供給を基軸に、徹底的にコミットしながら、より大胆かつ持続的で多面的なサポートを展開していく姿勢が求められています。

イノベーション  
事業本部  
の戦略

## スタートアップ企業向けデットファイナンスの強化

## スタートアップ企業のバリューアップ（企業価値向上）サポート

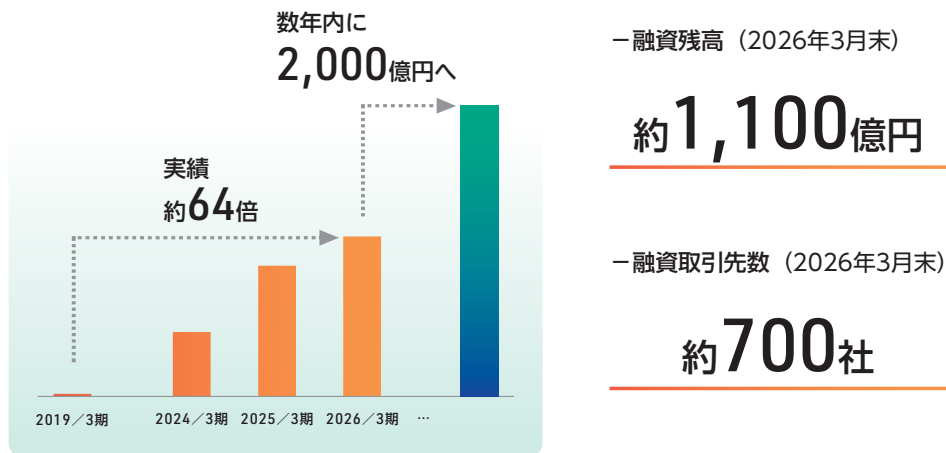
## 「商工中金スタートアップエコシステム」の構築とオープンイノベーションの推進

## スタートアップ企業向けデットファイナンスの推進強化

2019年にスタートアップ企業支援の取組みを本格化して以降、7年にわたり、着実に実績を積み上げてきました。数年内に融資残高2,000億円の達成を目標に、その先もサステナブルに拡大を継続していく方針です。

17の戦略分野を軸に、宇宙・核融合・量子・バイオなど、事業化に時間や資金を要する領域にもこれまで以上に積極的に対応してまいります。

## ▶ サポート実績



## スタートアップ企業のバリューアップ（企業価値向上）サポート

スタートアップ企業の売上規模拡大と、中小企業の経営課題解決を同時に実現する取組みとして、スタートアップ企業が提供する製品・サービスを、全国の中小企業へ紹介しています。

スタートアップ企業の事業機会拡大や企業価値向上を後押しするとともに、中小企業におけるDXの推進や業務効率化につなげることで、中小企業の生産性向上に貢献します。

「商工中金スタートアップエコシステム」の構築と  
オープンイノベーションの推進連携から  
共創へ

「商工中金スタートアップエコシステム」の構築・拡大に向け、ベンチャーキャピタルや地域金融機関、全国の自治体・アカデミア・事業会社など、国内外の幅広いステークホルダーとの連携を強化します。多様な知見やネットワークが循環する環境を整備し、活用することで、スタートアップ企業にとってはサプライチェーンの構築を、中小企業にとっては新産業・新市場へのリーチを後押しし、オープンイノベーションの創出に貢献していきます。

商工中金も、スタートアップ企業との共創を通じ、金融の枠を超えた新たなサービス創出や業務変革に挑戦し、イノベーションを進めることで、中小企業経済圏全体の進化につなげてまいります。